

授業科目及びその単位数・卒業要件

1 カリキュラム

本学のカリキュラムは、共通基礎科目、共通専門科目、学科専門科目に区分される。

(1) 共通基礎科目

A群：宗教と思想、B群：人間行動と歴史、C群：人間と社会、D群：情報とコンピュータ・サイエンス、E群：言語とコミュニケーション、F群：スポーツと健康、G群：思考と実践、H群：他大学における履修の8つの群で構成される。

幅広い教養を身につけ、広い視野から真理を学び考える力を養い、深い人間性の育成を目指す。専門科目へとつながる基礎となる科目である。

(2) 共通専門科目

HD群：情報技術系（2019年度入学者のみ）、HG群：地域学系、HE群：英語コミュニケーション系、HF群：日本語、フランス語、ドイツ語、中国語のレベルⅢと語学オプション・コース、HH群：他大学科目系の科目等で構成される。

(3) 学科専門科目と各コース

英語文化コミュニケーション学科は、「英語教育」、「キャリア英語」（2020年度以降入学者は「キャリアコミュニケーション」）、「文学・文化」の3つのコースに分かれている。

国際文化学科は、「歴史探究」、「多文化理解」、「国際社会」、「情報メディア」の4つのコースに分かれている。

共生社会学科は、「ソーシャルビジネス・コース」、「ソーシャルワーク・コース」の2つのコースに分かれている。

自分の興味のあるコースを選択し、それぞれの学習目標にあったコースの入門科目を経て、専門科目を系統的に学ぶことができる。また、コースの枠を超えて他のコース科目、他学科の科目を自由に選択することができる。

① 英語教育コース

このコースは、将来、中学校・高等学校の教員や、児童英語の指導員など、教育に関わる仕事に就くことを目的にしている人のためのものである。英語を教えるために必要な知識を身につけるとともに、教える技術を実践的に学んで専門教科の知識を深め、理論と実践の両面に精通した人材を育成することを目指している。

また、4年間の学びを通して、教員に必要な主体性や協調性、責任感、リーダーシップ等を身につけ、人間としても成長して社会に貢献できるようになることも目的とされている。

② キャリアコミュニケーション・コース（2020年度以降入学者）

このコースは、英語によるコミュニケーション・スキルをさらに磨き、将来のキャリアに生かしたいと考えている学生向けのコースである。コミュニケーション主体としての人間理解を基軸に、今後の人生の様々な場面で生きる実践的な英語を鍛える科目群と、地域や世界について深く学ぶ科目群を並行して履修する。留学やインターンシップを含む国内外でのアクティブ・ラーニングにも積極的に参加することで、グローバル・マインドを備えて活躍できる人材を育成する。

キャリア英語コース（2019年度入学者）

このコースは、英語を使うことが好きで、将来、英語を使う仕事を希望している人に向いているコースである。ビジネスの現場で使える英語を鍛える科目群と、国際教養・社会科学の科目群をバランスよく履修し、英語を使ってグローバルに活躍する人材を育てる。

また、インターンシップや留学への積極的な参加を強くすすめる。

③ 文学・文化コース

このコースでは、人間、社会、文化について学び、グローバルな空間で言葉の力を深化させる。英米の文学作品や文化、歴史、社会の動きを学び、言葉に対するセンスを磨くと共に、英語圏の人々の人間理解や世界観を学ぶ。同時に、自分の文化への意識と理解を深めることも目指す。

④ 歴史探究コース

このコースでは、日本史、アジア史、ヨーロッパ史の学びを通じて、人類社会の過去における営みの中に私たちの現在を知るさまざまな英知を探究し、人類にとってより良い社会を築いていく力を育成する。

⑤ 多文化理解コース

このコースでは、ヨーロッパ、アジアの多様な文化や習慣を理解し、グローバル化が進行する現代の多文化社会の中で、自己のアイデンティティーを保ちながら、異なる他者との絆を深める力を育成する。

⑥ 国際社会コース

このコースでは、国際政治、環境経済、国際法、情報メディアの勉学を通じて、複雑な国際社会を分析し、グローバルな視点を養う。自分たちの社会と世界のつながりを理解し、当事者意識を持って行動する力を育成する。

⑦ 情報メディアコース

このコースでは、情報メディアに関する諸領域を学び、ウェブや映像等の「発信力」を磨く。「発信力」をいかした実践活動により、地域社会の課題を解決する力を育成する。

⑧ ソーシャルビジネス・コース

このコースでは、地域の様々な課題をビジネスの方法でその解決策を図るソーシャルビジネスのあり方やその仕組みについて学ぶ。営利を目的としない新しいビジネスを指しており、地域課題解決に必要な幅広い知識とスキルを身につける人材を育成する。

⑨ ソーシャルワーク・コース

このコースでは、社会福祉の基本や実践を学んで、今後ますます活躍する分野が広がるソーシャル・ワーカーの人材を育成する。さまざまな分野の社会福祉施設、社会福祉協議会、病院、新たに広がる相談業務の分野への進出が期待される。社会福祉士国家試験受験資格、社会福祉主事等の資格が得られる。

カリキュラムの構成

英語文化コミュニケーション学科	国際文化学科	共生社会学科
共通基礎科目		
共通専門科目（上級言語等）		
学科専門科目		
英語教育コース キャリア・コミュニケーションコース(キャリア英語コース) 文学・文化コース	歴史探究コース 多文化理解コース 国際社会コース 情報メディアコース	ソーシャルビジネス・コース ソーシャルワーク・コース

③ 卒業必要単位数

本学の卒業に必要な最低修得単位数は次のとおりである。

(1) 卒業必要単位数

① 英語文化コミュニケーション学科

科 目 群	必要単位数	備 考
共 通 基 礎 科 目	48単位以上 (必修単位数を含む)	
共 通 専 門 科 目	60単位以上 (必修単位数を含む)	
学 科 専 門 科 目		
自 由 科 目	16単位以上	必要単位数を上回って修得した共通基礎科目や専門科目でも構わない
合 計	124単位以上	

② 国際文化学科

科 目 群	必要単位数	備 考
共 通 基 礎 科 目	48単位以上 (必修単位数を含む)	
共 通 専 門 科 目	50単位以上 (必修単位数、コース科目20単位を含む)	
学 科 専 門 科 目		コース科目を20単位以上修得すること
自 由 科 目	26単位以上	必要単位数を上回って修得した共通基礎科目や専門科目でも構わない
合 計	124単位以上	

③ 共生社会学科

科 目 群	必要単位数	備 考
共 通 基 礎 科 目	40単位以上 (必修単位数を含む)	
共 通 専 門 科 目	60単位以上 (必修単位数を含む)	
学 科 専 門 科 目		
自 由 科 目	24単位以上	必要単位数を上回って修得した共通基礎科目や専門科目でも構わない
合 計	124単位以上	

(2) 必修科目について

必修科目は次のとおりである。

<2024年度以降入学者向け>

① 共通基礎科目

キリスト教学1・2（各2単位）、コンピュータリテラシー（2単位）、外国語（英語文化コミュニケーション学科16単位（ただし、英語の履修レベルにより32単位の場合あり。詳細はP.163～166を確認のこと）、国際文化学科16単位、共生社会学科8単

位)、スポーツ実習1・2(各1単位)、基礎演習(2単位)、ボランティア論(2単位)、地域学入門(1単位)

② 共通専門科目・学科専門科目

・英語文化コミュニケーション学科

コースに関わりなく、以下の通り必修となる。

英文法1・2(各2単位)、コミュニケーション入門(2単位)、入門演習(2単位)、コミュニケーション演習1・2・3・4(各2単位)

※上記に加え、共通専門科目HE群から16単位が必修となる(ただし、英語の履修レベルにより共通基礎科目E群から16単位に代えることができる)。詳細はP.163~166を参照のこと。

<英語教育コース>

○教員免許状の取得をめざす場合

教職課程のページ(P.212)を確認のこと。

※小学校の教員をめざす人は、「本学児童英語教育プログラム修了証の取得をめざす」領域の科目を履修することを強く勧める。

○児童英語教育プログラム修了証の取得をめざす場合

児童英語教育プログラムデイプロマのページ(P.202)を確認のこと。

<キャリアコミュニケーション・コース>

コース展開科目を20単位以上修得すること。

<文学・文化コース>

「グローバル・スタディーズ/異文化理解」領域、「文学と表現」領域のいずれか1つの領域から16単位以上修得すること。

※1. 「グローバル・スタディーズ/異文化理解」領域を選んだ場合、共通基礎科目の「文学1・2」を履修することを強く勧める。

※2. 「文学と表現」領域を選んだ場合、共通基礎科目の「哲学1・2」「政治学1・2」を履修することを強く勧める。

・国際文化学科

コースに関わりなく、以下の通り必修となる。

国際文化入門(2単位)、入門演習(2単位)

<歴史探究コース>

・次の3つの組み合わせのうち、どれか一つの組み合わせを選択必修とする。

① 日本近現代史1・2(各2単位)の組み合わせ

② アジア史概説・アジア史(各2単位)の組み合わせ

③ 西洋史概説・西洋史(各2単位)の組み合わせ

・歴史学演習1・2・3・4(各2単位)

・コース科目20単位以上

<多文化理解コース>

・次の3つの組み合わせのうち、どれか一つの組み合わせを選択必修とする。

① 日本文化論1・2(各2単位)の組み合わせ

② アジア文化論1・2(各2単位)の組み合わせ

- ③ ヨーロッパ文化論1・2（各2単位）の組み合わせ
・文化論演習1・2・3・4（各2単位）
・コース科目20単位以上

<国際社会コース>

- ・次の3つの組み合わせのうち、どれか一つの組み合わせを選択必修とする。
① 国際政治論1・2（各2単位）の組み合わせ
② 国際経済論1・2（各2単位）の組み合わせ
③ 国際法1・2（各2単位）の組み合わせ
・現代社会演習1・2・3・4（各2単位）
・コース科目20単位以上

<情報メディア・コース>

- ・基幹科目 情報メディア論、デジタルジャーナリズム論、メディア産業論、デジタルコンテンツ概論から4単位以上修得すること。
・基幹科目 時事問題研究1、時事問題研究2のいずれかを修得すること。
・共通基礎科目 情報技術資格対策（ITパスポート）（4単位）を履修すること。
・情報メディア演習1・2・3・4（各2単位）
・コース科目20単位以上

・共生社会学科

コースに関わりなく、以下の通り必修となる。

ソーシャルマネジメント入門（2単位）、社会福祉1・2（各2単位）、社会起業論1・2（各2単位）、共生の哲学1・2（各2単位）、入門演習（2単位）、ソーシャルマネジメント演習1・2・3・4（各2単位）

<ソーシャルビジネス・コース>

- ・まちづくり論1・2（各2単位）
・展開科目1 社会福祉関連科目から12単位以上及び展開科目2 ソーシャルビジネス関連科目から12単位以上修得すること。
・フィールド・トレーニング事前事後指導1（1単位）
・フィールド・トレーニング事前事後指導2（1単位）
・フィールド・トレーニング1（2単位）

<ソーシャルワーク・コース>

心理学と心理的支援（2単位）、ソーシャルワークの基盤と専門職1・2（各2単位）、ソーシャルワークの理論と方法1・2・3・4（各2単位）、地域福祉1・2（各2単位）、高齢者福祉（2単位）、障害者福祉（2単位）、児童・家庭福祉（2単位）、医学概論（2単位）、保健医療と福祉（2単位）、社会福祉調査の基礎（2単位）、社会保障1・2（各2単位）、貧困に対する支援（2単位）、福祉サービスの組織と経営（2単位）、刑事司法と福祉（2単位）、権利擁護を支える法制度（2単位）、ソーシャルワーク演習1・2・3・4・5（各2単位）

③ 更に、学科に関わりなく次のとおり必修となる。

- （1）以下の科目から4単位以上修得すること

「卒業論文（6単位）」「コミュニケーション演習5（2単位）」「コミュニケーション

演習6（2単位）」「歴史学演習5（2単位）」「歴史学演習6（2単位）」「文化論演習5（2単位）」「文化論演習6（2単位）」「現代社会演習5（2単位）」「現代社会演習6（2単位）」「情報メディア演習5（2単位）」「情報メディア演習6（2単位）」「ソーシャルマネジメント演習5（2単位）」「ソーシャルマネジメント演習6（2単位）」「サービスラーニング1（卒）（2単位）」「サービスラーニング2（卒）（2単位）」「地域学研究（4単位）」

※演習、サービスラーニングについては、4年次の学びの卒業成果物を作成しまとめること。

（2）以下の科目から2単位以上修得すること

【1年次から履修できるもの】

「地域学入門（1単位）」「インターンシップ（1～2単位）」「ボランティア（1～2単位）」「サービスラーニング（1～2単位）」「通訳実践（2単位）」「留学 異文化研究（1～16単位）」

【2年次以上で履修できるもの】

「情報メディア特論1（国内取材・研修）（2単位）」「情報メディア特論2（国内メディア研究）（2単位）」「他大学専門科目（沖縄キリスト教学院大学への留学）（1～60単位）」「情報メディアPBL1（2単位）」「情報メディアPBL2（2単位）」「歴史学フィールドワーク1（2単位）」「歴史学フィールドワーク2（2単位）」「歴史学フィールドワーク3（2単位）」「フィールド・トレーニング1（2単位）」「フィールド・トレーニング2（2単位）」「フィールド・トレーニング事前事後指導1（1単位）」「フィールド・トレーニング事前事後指導2（1単位）」「海外メディア事情（海外取材・研修）（2単位）」「海外キャリア研修（2単位）」「海外福祉研修（2単位）」

<2023年度以前入学者向け>

① 共通基礎科目（2021～2023年度入学者）

キリスト教学1・2（各2単位）、コンピュータリテラシー（2単位）、外国語（英語文化コミュニケーション学科16単位（ただし、英語の履修レベルにより32単位の場合あり。詳細はP.167～170を確認のこと）、国際文化学科16単位、共生社会学科8単位）、スポーツ実習1・2（各1単位）、基礎演習（2単位）、ボランティア論（2単位）、地域学入門（1単位）

① 共通基礎科目（2020年度入学者）

キリスト教学1・2（各2単位）、コンピュータリテラシー（2単位）、外国語（英語文化コミュニケーション学科及び国際文化学科：16単位、共生社会学科：8単位）、スポーツ実習1・2（各1単位）、基礎演習（2単位）、ボランティア論（2単位）、地域学入門（1単位）

① 共通基礎科目（2019年度入学者）

キリスト教学1・2（各2単位）、コンピュータリテラシー又は情報技術資格対策（Word）（各2単位）、外国語（英語文化コミュニケーション学科及び国際文化学科：

16単位、共生社会学科：8単位)、スポーツ実習1・2(各1単位)、基礎演習(2単位)、ボランティア論(2単位)、地域学入門(1単位)

② 共通専門科目・学科専門科目

・英語文化コミュニケーション学科

(2019年度および2020年度入学者)

コースに関わりなく、以下の通り必修となる。

共通専門科目HE群から16単位以上、英文法1・2(各2単位)、コミュニケーション入門(2単位)、入門演習(2単位)、コミュニケーション演習1・2・3・4(各2単位)

※共通専門科目HE群16単位中8単位以上は英語コミュニケーション・スキルズA1・A

2・B1・B2・C1・C2から修得すること。

(2021～2023年度入学者)

コースに関わりなく、以下の通り必修となる。

英文法1・2(各2単位)、コミュニケーション入門(2単位)、入門演習(2単位)、コミュニケーション演習1・2・3・4(各2単位)

※上記に加え、共通専門科目HE群から16単位が必修となる(ただし、英語の履修レベルにより共通基礎科目E群から16単位に代えることができる)。詳細はP.167～170を参照のこと。

<英語教育コース> (2019～2023年度入学者)

○教員免許状の取得をめざす場合

教職課程のページ(P.212)を確認のこと。

※ 小学校の教員をめざす人は、「本学児童英語教育プログラム修了証の取得をめざす」領域の科目を履修することを強く勧める。

○児童英語教育プログラム修了証の取得をめざす場合

児童英語教育プログラムディプロマのページ(P.202)を確認のこと。

<キャリアコミュニケーション・コース> (2020～2023年度入学者)

「キャリアコミュニケーションの基盤」領域から6単位以上、「ビジネスや社会生活で生きる英語」領域から20単位以上及び「現代社会やキャリア形成で必要な教養」領域から6単位以上修得すること。

※1. 「ビジネスや社会生活で生きる英語」領域の20単位には次の単位を含めること。

「文化交流論1」(2単位)、「文化交流論2」(2単位)、「観光キャリア英語1」(2単位)、「観光キャリア英語2」(2単位)から4単位以上及び「通訳(入門)1」(2単位)、「通訳2」(2単位)、「通訳実践」(2単位)、「翻訳(入門)1」(2単位)、「翻訳2」(2単位)から2単位以上

※2. 「現代社会やキャリア形成で必要な教養」領域の6単位には次の単位を含めること。

「国際関係史1」(2単位)、「国際関係史2」(2単位)、「国際経済論1」(2単位)、「国際経済論2」(2単位)から2単位以上及び「地域文化論1」(2単位)、「地域文化論2」(2単位)、「地域産業論1」(2単位)、「地域産業論2」(2単位)から2単位以上

※3. 「異文化研究」を4単位まで「ビジネスや社会生活で生きる英語」領域の20単位に含めることができる。

- ※4. 共通基礎科目の「社会学1・2」「経済学1・2」「情報技術資格対策」「キャリア開発入門」「キャリア開発1・2」「インターンシップ」及び共通専門科目の「地域学1・2」を履修することを強く勧める。

<キャリア英語コース> (2019年度入学者)

「ビジネスで使える英語を伸ばす」領域から20単位以上及び「グローバルなビジネスの現場で必要な教養」領域から8単位以上修得すること。

- ※1. 「異文化研究」を4単位まで「ビジネスで使える英語を伸ばす」領域の20単位に含めることができる。但し、英語圏への短期留学に限る。

- ※2. 共通基礎科目の「政治学1・2」「経済学1・2」「情報メディア論1・2」「情報管理基礎論1・2」「キャリア開発入門」「キャリア開発1・2」「インターンシップ」及び共通専門科目の「地域学1・2」「情報技術資格対策」を履修することを強く勧める。

<文学・文化コース> (2020~2023年度入学者)

「グローバル・スタディーズ/異文化理解」領域、「文学と表現」領域のいずれか1つの領域から20単位以上修得すること。

- ※1. 「グローバル・スタディーズ/異文化理解」領域を選んだ場合、共通基礎科目の「文学1・2」を履修することを強く勧める。

- ※2. 「文学と表現」領域を選んだ場合、共通基礎科目の「哲学1・2」「政治学1・2」を履修することを強く勧める。

<文学・文化コース> (2019年度入学者)

「グローバル・スタディーズ/異文化理解」領域、「文学と表現」領域、「言語研究」領域のいずれか1つの領域から20単位以上修得すること。

- ※1. 「グローバル・スタディーズ/異文化理解」領域を選んだ場合、共通基礎科目の「文学1・2」を履修することを強く勧める。

- ※2. 「文学と表現」領域を選んだ場合、共通基礎科目の「哲学1・2」「政治学1・2」を履修することを強く勧める。

- ※3. 「言語研究」領域を選んだ場合、共通基礎科目及び共通専門科目の「フランス語」「ドイツ語」「中国語」、エクステンション科目の「イタリア語」「コリア語」のいずれかの履修を強く勧める。

・国際文化学科

コースに関わりなく、以下の通り必修となる。

国際文化入門（2単位）、入門演習（2単位）

<歴史探究コース> (2019~2023年度入学者)

- ・次の3つの組み合わせのうち、どれか一つの組み合わせを選択必修とする。

- ① 日本近現代史1・2（各2単位）の組み合わせ
- ② アジア史概説・アジア史（各2単位）の組み合わせ
- ③ 西洋史概説・西洋史（各2単位）の組み合わせ

- ・歴史学演習1・2・3・4（各2単位）

- ・コース科目20単位以上

<多文化理解コース> (2019~2023年度入学者)

- ・次の3つの組み合わせのうち、どれか一つの組み合わせを選択必修とする。

- ① 日本文化論1・2（各2単位）の組み合わせ
 - ② アジア文化論1・2（各2単位）の組み合わせ
 - ③ ヨーロッパ文化論1・2（各2単位）の組み合わせ
- ・文化論演習1・2・3・4（各2単位）
 - ・コース科目20単位以上

<国際社会コース> (2019~2023年度入学者)

- ・次の3つの組み合わせのうち、どれか一つの組み合わせを選択必修とする。
- ① 国際政治論1・2（各2単位）の組み合わせ
 - ② 国際経済論1・2（各2単位）の組み合わせ
 - ③ 国際法1・2（各2単位）の組み合わせ
- ・現代社会演習1・2・3・4（各2単位）
 - ・コース科目20単位以上

<情報メディア・コース> (2019~2023年度入学者)

- ・基幹科目 情報メディア論、デジタルジャーナリズム論、デジタルコンテンツ概論、コンテンツプロデュース論から4単位以上修得すること。
- ・基幹科目 時事問題研究1、時事問題研究2のいずれかを修得すること。
- ・共通専門科目（2020年度以降入学者は共通基礎科目） 情報技術資格対策（ITパスポート）（4単位）を履修すること。
- ・情報メディア演習1・2・3・4（各2単位）
- ・コース科目20単位以上

・共生社会学科

- コースに関わりなく、以下の通り必修となる。
- 社会福祉原論1・2（各2単位）、共生の哲学1・2（各2単位）、共生とケア入門（2単位）、入門演習（2単位）、共生とケア演習1・2・3・4（各2単位）

<ソーシャルビジネス・コース> (2019年度入学者及び2020年度入学者)

- ・社会起業論1・2（各2単位）
- ・まちづくり論1・2（各2単位）
- ・展開科目1 社会福祉関連科目から16単位以上及び展開科目2 ソーシャルビジネス関連科目から12単位以上修得すること。
- ・フィールド・トレーニング事前事後指導1（1単位）
- ・フィールド・トレーニング事前事後指導2（1単位）
- ・フィールド・トレーニング1（2単位）

<ソーシャルワーク・コース> (2019年度入学者及び2020年度入学者)

- 心理学理論と心理的支援（2単位）、相談援助の基盤と専門職1・2（各2単位）、相談援助の理論と方法1・2・3・4（各2単位）、地域福祉論1・2（各2単位）、高齢者福祉論1・2（各2単位）、障害者福祉論1・2（各2単位）、児童・家庭福祉論1・2（各2単位）（2020年度入学者は児童・家庭福祉論（2単位）、医学概論（2単位）、就労支援サービス・更生保護制度論（2単位）、社会調査の基礎（2単位）、社会保障論1・2（各2単位）、公的扶助論（2単位）、保健医療サービス論（2単位）、福祉行政財政と福祉計画（2単位）、福祉経営論（2単位）、権利擁護と成年後見制度（2単位）、相談援助演習1・2・3・4・5（各2単位）

<ソーシャルビジネス・コース> (2021~2023年度入学者)

- ・社会起業論1・2（各2単位）
- ・まちづくり論1・2（各2単位）
- ・展開科目1　社会福祉関連科目から14単位以上及び展開科目2　ソーシャルビジネス関連科目から10単位以上修得すること。
- ・フィールド・トレーニング事前事後指導1（1単位）
- ・フィールド・トレーニング事前事後指導2（1単位）
- ・フィールド・トレーニング1（2単位）

<ソーシャルワーク・コース> (2021~2023年度入学者)

心理学と心理的支援（2単位）、ソーシャルワークの基盤と専門職1・2（各2単位）、相談援助の理論と方法1・2・3・4（各2単位）、地域福祉論1・2（各2単位）、高齢者福祉論1・2（各2単位）、障害者福祉論1・2（各2単位）、児童・家庭福祉論（2単位）、医学概論（2単位）、刑事司法と福祉（2単位）、社会調査の基礎（2単位）、社会保障論1・2（各2単位）、公的扶助論（2単位）、保健医療と福祉（2単位）、福祉経営論（2単位）、権利擁護を支える法制度（2単位）、ソーシャルワーク演習1・2・3・4・5（各2単位）

（3）自由科目について

「共通基礎科目」、「共通専門科目」、「所属学科専門科目」のうち、すでに修得した科目以外から、英語文化コミュニケーション学科は16単位以上、国際文化学科は26単位以上、及び共生社会学科は24単位以上を修得すること。

上記の他、「他学科専門科目」、「海外留学」、「他大学との単位互換科目」及び「エクステンション科目」も自由科目となる。

自由科目群として成績表に記載される科目は「他学科専門科目」、「海外留学」、「他大学との単位互換科目」および「エクステンション科目」である。

外国語科目

2024年度以降入学者向け

1 外国語科目の履修方法

外国語科目のうち、英語の「KEEP A」「KEEP B」「英語コミュニケーション・スキルズA」「英語コミュニケーション・スキルズB」、日本語のレベルI「読む・書く」「聞く・話す」、レベルII「読む・書く」「聞く・話す」及び中国語、ドイツ語のレベルI「文法」は、90分授業が週2回行われる。

また、これらの言語のうち、日本語は日本語非母語話者のみが履修することができる。

(1) 必修外国語と選択外国語について

外国語科目には、必修外国語と選択外国語がある。各学科で必修外国語と選択外国語となる科目は次のとおりである。

英語文化コミュニケーション学科

<必修外国語>

初年次

○共通基礎科目E群から16単位以上修得すること。

- KEEP A1・2（英語読む・書く） Foundations, General, Intermediate, Advanced（各4単位）
- KEEP B1・2（英語聞く・話す） Foundations, General, Intermediate, Advanced（各4単位）

上記科目の指定されたクラスを履修し修了すれば、年間で16単位修得できる。

2年次～

(1) KEEP A1・2、KEEP B1・2においてIntermediateまたはAdvancedを修了した場合は、共通専門科目HE群から16単位以上修得すること。但し、16単位には次の科目から8単位以上を含めること。

- 英語コミュニケーション・スキルズA1・2 (Intermediate), (Advanced)（各4単位）
- 英語コミュニケーション・スキルズB1・2 (Intermediate), (Advanced)（各4単位）

なお、英語コミュニケーション・スキルズの履修方法は次のとおりである。

- KEEP A1（英語読む・書く） Intermediate 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズA1 (Intermediate)
- KEEP A2（英語読む・書く） Intermediate 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズA2 (Intermediate)
- KEEP B1（英語聞く・話す） Intermediate 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズB1 (Intermediate)
- KEEP B2（英語聞く・話す） Intermediate 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズB2 (Intermediate)
- KEEP A1（英語読む・書く） Advanced 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズA1 (Advanced)
- KEEP A2（英語読む・書く） Advanced 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズA2 (Advanced)
- KEEP B1（英語聞く・話す） Advanced 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズB1 (Advanced)
- KEEP B2（英語聞く・話す） Advanced 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズB2 (Advanced)

(2) KEEP A1・2、KEEP B1・2においてFoundationsまたはGeneralを修了した場合は、共通基礎科目E群の以下の科目からさらに16単位以上修得すること。

- ・KEEP A1・2（英語読む・書く）General, Intermediate（各4単位）
- ・KEEP B1・2（英語聞く・話す）General, Intermediate（各4単位）

なお、履修方法は次のとおりである。

- ・KEEP A1（英語読む・書く）Foundations修得済み→KEEP A1（英語読む・書く）General
- ・KEEP A2（英語読む・書く）Foundations修得済み→KEEP A2（英語読む・書く）General
- ・KEEP A1（英語読む・書く）General修得済み→KEEP A1（英語読む・書く）Intermediate
- ・KEEP A2（英語読む・書く）General修得済み→KEEP A2（英語読む・書く）Intermediate
- ・KEEP B1（英語聞く・話す）Foundations修得済み→KEEP B1（英語聞く・話す）General
- ・KEEP B2（英語聞く・話す）Foundations修得済み→KEEP B2（英語聞く・話す）General
- ・KEEP B1（英語聞く・話す）General修得済み→KEEP B1（英語聞く・話す）Intermediate
- ・KEEP B2（英語聞く・話す）General修得済み→KEEP B2（英語聞く・話す）Intermediate

※GeneralはFoundationsを修了した人が、IntermediateはGeneralを修了した人が、それぞれ履修可能。

(3) KEEP AとKEEP Bのうち、いずれか一方でも英語コミュニケーション・スキルズに進める場合は、上記（1）の履修方法に従うこと。

- ※1. 入学時に実施の英語プレイスメントテストにより、クラス分けを行う。
- ※2. KEEP A、KEEP Bともに90分×週2回、英語コミュニケーション・スキルズA、英語コミュニケーション・スキルズBともに90分×週2回開講する。
- ※3. 末尾の算用数字は1が前期開講、2が後期開講を表し、履修の順番は前後しても構わない。

<選択外国語>

英語以外の外国語科目は選択外国語となる。選択外国語を複数選択し履修することもできる。日本語非母語話者は、授業や講義の理解を深めるために、日本語を履修することが望ましい。

② 国際文化学科

<必修外国語>

英語、中国語、ドイツ語、日本語（日本語非母語話者のみ）の4言語のうちいずれかの言語の16単位を必修外国語とする。

<選択外国語>

必修外国語として選択した外国語以外の科目は選択外国語となる。選択外国語を複数選択し履修することもできる。日本語非母語話者は、授業や講義の理解を深めるために、日本語を履修することが望ましい。

③ 共生社会学科

<必修外国語>

英語「KEEP A」「KEEP B」のいずれか、又は日本語（日本語非母語話者のみ）の

8単位を、必修外国語とする。

※ 日本語の8単位は、「日本語Ⅰ－読む・書く」「日本語Ⅱ－読む・書く」の組み合わせもしくは「日本語Ⅰ－聴く・話す」「日本語Ⅱ－聴く・話す」の組み合わせとする。

＜選択外国語＞

必修外国語として選択した外国語以外の科目は選択外国語となる。選択外国語を複数選択し履修することもできる。日本語非母語話者は、授業や講義の理解を深めるために、日本語を履修することが望ましい。

(2) 英語以外の言語の履修方法

① 中国語・ドイツ語

中国語とドイツ語は、レベルⅠからレベルⅢまで構成されている。

レベル	I	I	I	I	I	I	II	II	II	II	II	II	III	III	III	III
コース	文法1	文法2	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2	文法1	文法2	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2
単位数	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
授業時間	90分 ×2	90分 ×2	90分 ×1													

※ 網掛けは、必修外国語として卒業要件に含めることができる科目。

初習外国語なので、履修者全員がレベルⅠから始める。それぞれのコースごとに各科目名の末尾が1の科目を修得すると2の科目が履修でき、各レベルを修得すると次のレベルに進むことができる。

② フランス語

フランス語はレベルⅠからレベルⅢまで構成されている。

レベル	I	I	I	I	II	II	II	II	III							
コース	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2												
単位数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
授業時間	90分 ×1															

初習外国語なので、履修者全員がレベルⅠから始める。それぞれのコースごとに各科目名の末尾が1の科目を修得すると2の科目が履修でき、各レベルを修得すると次のレベルに進むことができる。

③ 日本語

日本語はレベルⅠからレベルⅣまで構成されている。

レベル	I	I	II	II	III	III	IV	IV
コース	読む・書く	聴く・話す	読む・書く	聴く・話す	読む・書く	聴く・話す	読む・書く	聴く・話す
単位数	4	4	4	4	2	2	2	2
授業時間	90分 ×2	90分 ×2	90分 ×2	90分 ×2	90分 ×1	90分 ×1	90分 ×1	90分 ×1

※ 網掛けは、国際文化学科及び共生社会学科の日本語非母語話者が必修外国語として

卒業要件に含めることができる科目。

1年次生（日本語非母語話者）は、プレイスメントテストの結果に基づき各コースごとにレベルを指定するので、そのレベルを履修すること。レベルⅢ以上に指定された場合、そのコースのレベルⅠ及びレベルⅡは免除され単位認定されないため、「共通基礎科目」の中から他の科目的単位を修得することによりその単位を補わなければならない。

原則としてそれぞれのコースごとに各レベルを修得すると、次のレベルに進むことができる。

レベルⅣまで段階的に履修することを強く勧める。

外国語科目

2020～2023年度入学者向け

① 外国語科目の履修方法

外国語科目のうち、英語の「KEEP A」「KEEP B」「英語コミュニケーション・スキルズA」「英語コミュニケーション・スキルズB」、日本語のレベルI「読む・書く」「聞く・話す」、レベルII「読む・書く」「聞く・話す」及び中国語、ドイツ語のレベルI「文法」は、90分授業が週2回行われる。

また、これらの言語のうち、日本語は日本語非母語話者のみが履修することができる。

(1) 必修外国語と選択外国語について

外国語科目には、必修外国語と選択外国語がある。各学科で必修外国語と選択外国語となる科目は次のとおりである。

英語文化コミュニケーション学科（2021～2023年度入学者）

＜必修外国語＞

初年次

○共通基礎科目E群から16単位以上修得すること。

- KEEP A1・2（英語読む・書く） Foundations, General, Intermediate, Advanced（各4単位）
- KEEP B1・2（英語聞く・話す） Foundations, General, Intermediate, Advanced（各4単位）

上記科目の指定されたクラスを履修し修了すれば、年間で16単位修得できる。

2年次～

(1) KEEP A1・2、KEEP B1・2においてIntermediateまたはAdvancedを修了した場合は、共通専門科目HE群から16単位以上修得すること。但し、16単位には次の科目から8単位以上を含めること。

- 英語コミュニケーション・スキルズA1・2 (Intermediate), (Advanced)（各4単位）
- 英語コミュニケーション・スキルズB1・2 (Intermediate), (Advanced)（各4単位）

なお、英語コミュニケーション・スキルズの履修方法は次のとおりである。

- KEEP A1（英語読む・書く） Intermediate 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズA1 (Intermediate)
- KEEP A2（英語読む・書く） Intermediate 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズA2 (Intermediate)
- KEEP B1（英語聞く・話す） Intermediate 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズB1 (Intermediate)
- KEEP B2（英語聞く・話す） Intermediate 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズB2 (Intermediate)
- KEEP A1（英語読む・書く） Advanced 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズA1 (Advanced)
- KEEP A2（英語読む・書く） Advanced 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズA2 (Advanced)
- KEEP B1（英語聞く・話す） Advanced 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズB1 (Advanced)
- KEEP B2（英語聞く・話す） Advanced 修得済み→英語コミュニケーション・スキルズB2 (Advanced)

(2) KEEP A1・2、KEEP B1・2においてFoundationsまたはGeneralを修了した場合は、共通基礎科目E群の以下の科目からさらに16単位以上修得すること。

- KEEP A1・2（英語読む・書く）General, Intermediate（各4単位）
- KEEP B1・2（英語聴く・話す）General, Intermediate（各4単位）

なお、履修方法は次のとおりである。

- KEEP A1（英語読む・書く）Foundations修得済み→KEEP A1（英語読む・書く）General
- KEEP A2（英語読む・書く）Foundations修得済み→KEEP A2（英語読む・書く）General
- KEEP A1（英語読む・書く）General修得済み→KEEP A1（英語読む・書く）Intermediate
- KEEP A2（英語読む・書く）General修得済み→KEEP A2（英語読む・書く）Intermediate
- KEEP B1（英語聴く・話す）Foundations修得済み→KEEP B1（英語聴く・話す）General
- KEEP B2（英語聴く・話す）Foundations修得済み→KEEP B2（英語聴く・話す）General
- KEEP B1（英語聴く・話す）General修得済み→KEEP B1（英語聴く・話す）Intermediate
- KEEP B2（英語聴く・話す）General修得済み→KEEP B2（英語聴く・話す）Intermediate

※GeneralはFoundationsを修了した人が、IntermediateはGeneralを修了した人が、それぞれ履修可能。

(3) KEEP AとKEEP Bのうち、いずれか一方でも英語コミュニケーション・スキルズに進める場合は、上記（1）の履修方法に従うこと。

- ※1. 入学時に実施の英語プレイスメントテストにより、クラス分けを行う。
- ※2. KEEP A、KEEP Bともに90分×週2回、英語コミュニケーション・スキルズA、英語コミュニケーション・スキルズBともに90分×週2回開講する。
- ※3. 末尾の算用数字は1が前期開講、2が後期開講を表し、履修の順番は前後しても構わない。

① 英語文化コミュニケーション学科（2020年度入学者）

<必修外国語>

- KEEP A1・2（読む・書く）（各4単位）
- KEEP B1・2（聴く・話す）（各4単位）
- 共通専門科目HE群から16単位以上修得のこと。ただし、16単位には次の8単位以上を含めること。

〔英語コミュニケーション・スキルズA1・2（各4単位）
英語コミュニケーション・スキルズB1・2（各4単位）
英語コミュニケーション・スキルズC1・2（各2単位）〕 左記科目から8単位以上

- ※1. 入学時に実施の英語プレイスメントテストにより、クラス分けを行う。
- ※2. KEEP A、KEEP Bともに90分×週2回、英語コミュニケーション・スキルズA、英語コミュニケーション・スキルズBはともに90分×週2回、英語コミュニケーション・スキルズCは90分×週1回
- ※3. 末尾の算用数字は1が前期開講、2が後期開講を表し、履修の順番は前後しても構わない。
- ※4. 英語コミュニケーション・スキルズの履修条件については次のとおりである。
 - 英語コミュニケーション・スキルズA1→KEEP A1（読む・書く）修得済み

- ・英語コミュニケーション・スキルズA 2 →KEEP A2（読む・書く）修得済み
- ・英語コミュニケーション・スキルズB 1 →KEEP B1（聴く・話す）修得済み
- ・英語コミュニケーション・スキルズB 2 →KEEP B2（聴く・話す）修得済み
- ・英語コミュニケーション・スキルズC 1・2 →2年次生以上

<選択外国語>

英語以外の外国語科目は選択外国語となる。選択外国語を複数選択し履修することもできる。日本語非母語話者は、授業や講義の理解を深めるために、日本語を履修することが望ましい。

② 国際文化学科（2020～2023年度入学者）

<必修外国語>

英語、中国語、ドイツ語、日本語（日本語非母語話者のみ）の4言語のうちいずれかの言語の16単位を必修外国語とする。

<選択外国語>

必修外国語として選択した外国語以外の科目は選択外国語となる。選択外国語を複数選択し履修することもできる。日本語非母語話者は、授業や講義の理解を深めるために、日本語を履修することが望ましい。

③ 共生社会学科（2020～2023年度入学者）

<必修外国語>

英語「KEEP A」「KEEP B」のいずれか、又は日本語（日本語非母語話者のみ）の8単位を、必修外国語とする。

※ 日本語の8単位は、「日本語I－読む・書く」「日本語II－読む・書く」の組み合わせもしくは「日本語I－聴く・話す」「日本語II－聴く・話す」の組み合わせとする。

<選択外国語>

必修外国語として選択した外国語以外の科目は選択外国語となる。選択外国語を複数選択し履修することもできる。日本語非母語話者は、授業や講義の理解を深めるために、日本語を履修することが望ましい。

(2) 英語以外の言語の履修方法

① 中国語・ドイツ語（2020～2023年度入学者）

中国語とドイツ語は、レベルIからレベルIIIまで構成されている。

レベル	I	I	I	I	I	I	II	II	II	II	II	II	III	III	III	III
コース	文法1	文法2	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2	文法1	文法2	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2
単位数	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
授業時間	90分 ×2	90分 ×2	90分 ×1													

※ 網掛けは、必修外国語として卒業要件に含めることができる科目。

初習外国語なので、履修者全員がレベルIから始める。それぞれのコースごとに各科目名の末尾が1の科目を修得すると2の科目が履修でき、各レベルを修得すると次のレ

ベルに進むことができる。

選択外国語として履修する場合、レベルI「文法1」及び「文法2」(いずれも週2回)は必ず履修すること。「文法1」及び「文法2」に加えて、レベルI「読む・書く1」、「読む・書く2」、「聴く・話す1」、「聴く・話す2」を関心に応じて履修することができる。

また、レベルI「文法1」及び「文法2」を修得していれば、レベルIIの「文法1」、「読む・書く1」、「聴く・話す1」を履修できる。

② フランス語 (2020~2023年度入学者)

フランス語はレベルIからレベルIIIまで構成されている。

レベル	I	I	I	I	II	II	II	II	III	III	III	III
コース	読む・ 書く1	読む・ 書く2	聴く・ 話す1	聴く・ 話す2	読む・ 書く1	読む・ 書く2	聴く・ 話す1	聴く・ 話す2	読む・ 書く1	読む・ 書く2	聴く・ 話す1	聴く・ 話す2
単位数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
授業時間	90分 ×1											

初習外国語なので、履修者全員がレベルIから始める。それぞれのコースごとに各科目名の末尾が1の科目を修得すると2の科目が履修でき、各レベルを修得すると次のレベルに進むことができる。

③ 日本語 (2020~2023年度入学者)

日本語はレベルIからレベルIVまで構成されている。

レベル	I	I	II	II	III	III	IV	IV
コース	読む・ 書く	聴く・ 話す	読む・ 書く	聴く・ 話す	読む・ 書く	聴く・ 話す	読む・ 書く	聴く・ 話す
単位数	4	4	4	4	2	2	2	2
授業時間	90分 ×2	90分 ×2	90分 ×2	90分 ×2	90分 ×1	90分 ×1	90分 ×1	90分 ×1

※ 網掛けは、国際文化学科及び共生社会学科の日本語非母語話者が必修外国語として卒業要件に含めることができる科目。

1年次生（日本語非母語話者）は、プレイスメントテストの結果に基づき各コースごとにレベルを指定するので、そのレベルを履修すること。レベルIII以上に指定された場合、そのコースのレベルI及びレベルIIは免除され単位認定されないため、「共通基礎科目」の中から他の科目の単位を修得することによりその単位を補わなければならない。

それぞれのコースごとに各レベルを修得すると、次のレベルに進むことができる。

レベルIVまで段階的に履修することを強く勧める。

外国語科目

2019年度以前入学者向け

① 外国語科目の履修方法

外国語科目のうち、英語の「KEEP A」「KEEP B」「英語コミュニケーション・スキルズA」「英語コミュニケーション・スキルズB」、日本語のレベルI「読む・書く」「聞く・話す」、レベルII「読む・書く」「聞く・話す」及びフランス語、ドイツ語のレベルI「文法」は、90分授業が週2回行われる。

また、これらの言語のうち、日本語は日本語非母語話者のみが履修することができる。

(1) 必修外国語と選択外国語について

外国語科目には、必修外国語と選択外国語がある。各学科で必修外国語と選択外国語となる科目は次のとおりである。

① 英語文化コミュニケーション学科

<必修外国語>

- KEEP A1・2（読む・書く）（各4単位）
- KEEP B1・2（聞く・話す）（各4単位）
- 共通専門科目HE群から16単位以上修得のこと。但し、16単位には次の8単位以上を含めること。

〔英語コミュニケーション・スキルズA1・2（各4単位）
英語コミュニケーション・スキルズB1・2（各4単位）
英語コミュニケーション・スキルズC1・2（各2単位）〕 左記科目から8単位以上

- ※1. 入学時に実施の英語プレイスメントテストにより、クラス分けを行う。
- ※2. KEEP A、KEEP Bともに90分×週2回、英語コミュニケーション・スキルズA、英語コミュニケーション・スキルズBはともに90分×週2回、英語コミュニケーション・スキルズCは90分×週1回
- ※3. 末尾の算用数字は1が前期開講、2が後期開講を表し、履修の順番は前後しても構わない。
- ※4. 英語コミュニケーション・スキルズの履修条件については次のとおりです。
 - 英語コミュニケーション・スキルズA1→KEEP A1（読む・書く）修得済み
 - 英語コミュニケーション・スキルズA2→KEEP A2（読む・書く）修得済み
 - 英語コミュニケーション・スキルズB1→KEEP B1（聞く・話す）修得済み
 - 英語コミュニケーション・スキルズB2→KEEP B2（聞く・話す）修得済み
 - 英語コミュニケーション・スキルズC1・2→2年次生以上

<選択外国語>

英語以外の外国語科目は選択外国語となる。選択外国語を複数選択し履修することもできる。日本語非母語話者は、授業や講義の理解を深めるために、日本語を履修するこ

とが望ましい。

② 国際文化学科

<必修外国語>

英語、フランス語、ドイツ語、日本語（日本語非母語話者のみ）の4言語のうちいずれかの言語の16単位を必修外国語とする。

<選択外国語>

必修外国語として選択した外国語以外の科目は選択外国語となる。選択外国語を複数選択し履修することもできる。日本語非母語話者は、授業や講義の理解を深めるために、日本語を履修することが望ましい。

③ 共生社会学科

<必修外国語>

英語「KEEP A」「KEEP B」のいずれか、又は日本語（日本語非母語話者のみ）の8単位を、必修外国語とする。

※ 日本語の8単位は、「日本語I-読む・書く」「日本語II-読む・書く」の組み合わせもしくは「日本語I-聴く・話す」「日本語II-聴く・話す」の組み合わせとする。

<選択外国語>

必修外国語として選択した外国語以外の科目は選択外国語となる。選択外国語を複数選択し履修することもできる。日本語非母語話者は、授業や講義の理解を深めるために、日本語を履修することが望ましい。

(2) 英語以外の言語の履修方法

① フランス語・ドイツ語

フランス語とドイツ語は、レベルIからレベルIIIまで構成されている。

レベル	I	I	I	I	I	I	II	II	II	II	II	II	III	III	III	III
コース	文法1	文法2	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2	文法1	文法2	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2
単位数	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
授業時間	90分 ×2	90分 ×2	90分 ×1													

※ 網掛けは、必修外国語として卒業要件に含めることができる科目。

初習外国語なので、履修者全員がレベルIから始める。それぞれのコースごとに各科目名の末尾が1の科目を修得すると2の科目が履修でき、各レベルを修得すると次のレベルに進むことができる。

選択外国語として履修する場合、レベルI「文法1」とび「文法2」（何れも週2回）は必ず履修すること。「文法1」とび「文法2」に加えて、レベルI「読む・書く1」、「読む・書く2」、「聴く・話す1」、「聴く・話す2」を関心に応じて履修することができる。

また、レベルI「文法1」とび「文法2」を修得していれば、レベルIIの「文法1」、「読む・書く1」、「聴く・話す1」を履修できる。

② 中国語

中国語はレベルⅠからレベルⅢまで構成されている。

レベル	I	I	I	I	II	II	II	II	III	III	III	III
コース	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2	読む・書く1	読む・書く2	聴く・話す1	聴く・話す2
単位数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
授業時間	90分 ×1											

初習外国語なので、履修者全員がレベルⅠから始め、各レベルを修得すると次のレベルに進むことができる。レベルⅠに関しては、「読む・書く」、「聴く・話す」どちらかのコースの科目名の末尾が1の科目を修得しさえすれば、「読む・書く」、「聴く・話す」どちらのコースの2を履修しても良いが、レベルⅡ以上に関しては、科目名の末尾が1の科目を修得できたコースのみの2の科目が履修できる。

また、レベルⅠの「読む・書く」、「聴く・話す」どちらのコースも、末尾が2の科目を修得しさえすれば、末尾が1の科目を修得していなくても、そのコースのレベルⅡが履修できる。

③ 日本語

日本語はレベルⅠからレベルⅣまで構成されている。

レベル	I	I	II	II	III	III	IV	IV
コース	読む・書く	聴く・話す	読む・書く	聴く・話す	読む・書く	聴く・話す	読む・書く	聴く・話す
単位数	4	4	4	4	2	2	2	2
授業時間	90分 ×2	90分 ×2	90分 ×2	90分 ×2	90分 ×1	90分 ×1	90分 ×1	90分 ×1

※ 網掛けは、国際文化学科及び共生社会学科の日本語非母語話者が必修外国語として卒業要件に含めることができる科目。

1年次生（日本語非母語話者）は、プレイスメントテストの結果に基づき各コースごとにレベルを指定するので、そのレベルを履修すること。レベルⅢ以上に指定された場合、そのコースのレベルⅠ及びレベルⅡは免除され単位認定されないため、「共通基礎科目」の中から他の科目の単位を修得することによりその単位を補わなければならない。

それぞれのコースごとに各レベルを修得すると、次のレベルに進むことができる。

レベルⅣまで段階的に履修することを強く勧める。